allcinema

一心太助　男の中の男一匹（1959）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国　日本
色彩　Color
時間　94分
初公開日 1959/11/29

【解説】
　中村錦之助が一人二役で活躍する「一心太助」シリーズ第三弾で、とりあえずの完結編（シリーズはまだ続く）。脚本・監督は前作に引き続き沢島忠が担当した（鷹沢和善は沢島のペンネーム）。太助はいよいよお仲と結婚するが、親分と慕う彦左衛門が病で倒れてしまう。
　一心太助は大久保彦左衛門の仲人でお仲との婚礼を済ませた。新婚初夜を迎えようとする二人のもとには、賭場を荒らした弦太、大久保家の用人喜内の隠し子である糸吉と鯉平、さらにはお仲の友達のお恵とお光まで転がり込んでくる。そのころ魚河岸は悪徳商人の丹波屋と結託した神尾主膳により乗っ取られようとしていた。彦左衛門が急死すると同時に、南町奉行は魚河岸に重税を課す。魚河岸の取締役である松前屋は、豊臣の残党ということで捕縛され、市中を引きずり回れてしまう。太助は松前屋を救うべく立ち上がるのだが…。

【クレジット】
監督　沢島忠
企画　辻野公晴
　　小川貴也
脚本　鷹沢和善
撮影　坪井誠
美術　井川徳道
音楽　鈴木静一
出演　中村錦之助
　　中原ひとみ
　　月形龍之介
　　丘さとみ
　　大河内伝次郎
　　山形勲
　　進藤英太郎

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.